



(紅葉の立山-轡馬沢)

映像で魅せる

立山賛歌

— 護り伝えたい自然と文化 —

参加者
募集!

入場無料
(800名)

※人数多数の場合は抽選
※申込方法は裏面に案内

知られざる立山の魅力を立山の3博物館が大紹介! (富山県立山博物館・富山県立山カルデラ砂防博物館・立山自然保護センター)

平成26年 9月12日(金) 午後6時30分~8時30分(開場:午後6時)

会場

きゅりあん大ホール

東京都品川区立総合区民会館 | 東京都品川区東大井5-19-1 (JR大井町駅前)

主催/富山県「立山のタベ」実行委員会(富山県立山博物館・富山県立山カルデラ砂防博物館・立山自然保護センター・立山黒部貫光)

後援/国土交通省北陸地方整備局、環境省長野自然環境事務所、中部森林管理局、富山県、富山市、立山町、富山県観光連盟、富山県道路公社、立山山荘協同組合、読売新聞北陸支社、北日本新聞社 協力/東京富山県人会連合会

「立山にみる日本人と山との関わり」

昨年の7月に富士山がユネスコの世界文化遺産に登録されたことを機に、日本人と山との関わりが見直されつつある。立山は、その富士山・白山とともに古来より日本三霊山と呼ばれ、地獄・極楽の山として、江戸時代には女性救済の行事である「布橋灌頂会」が行われる場所として知られていた。「布橋灌頂会」は、平成24年に日本ユネスコ協会プロジェクト未来遺産に登録され、今では3年ごとに復元実施され、「癒し」のイベントとして知られつつある。

一方で、観・立山の雄大でかつ峻厳な山容は、今でもアルピニストのあこがれの地であり、毎年数多くの観光客を惹きつけている。立山の自然と、そこで育まれた先人の思いを紹介することにより、日本人と山との関わりを理解する機会となれば幸いである。

富山県 「立山博物館」



「布橋灌頂会の世界」を紹介。

立山山麓芦花寺では江戸時代に、女性救済の儀式として「布橋灌頂会」が行われてきました。近年130余年ぶりに復元され、今では3年ごとに実施されることになり、本年9月に実施される予定です。その布橋灌頂会の世界をご紹介します。

立山博物館は、「立山の自然と人間のかかわり」をテーマに、立山の自然と立山信仰の精神性について、「立山使茶羅」などの実物資料や大型映像、さらには高い芸術性を有する多様な芸術的造形物からなる野外展示、そして数多くの石造物や文化的建造物などの地域の歴史的景観で紹介する広域分散型のユニークな博物館です。



立山使茶羅



立山信仰

映像と解説で魅せる 立山の自然と癒しの力。

富山県 立山カルデラ砂防博物館



「立山の多様な自然」を紹介。

立山の多様な自然は、4つのキーワードで特徴づけることができます。世界で最も新しい造山帯の一つとして急激に隆起した「上昇する山」、日本で唯一の現存する氷河が発見された「氷の山」、広大な火砕流台地や立山カルデラを誇る「火の山」、そして昔話日本一の称名湖を形作った「水の山」。この素晴らしい舞台の上に、特徴的な動植物が生息し、独特の人の営みが続けられてきたのです。



立山自然

立山カルデラ砂防博物館では、立山や立山カルデラの自然や歴史、立山砂防について紹介しています。



立山自然保護センター



立山自然保護センター

立山自然保護センター

「癒しの天空ロード」を紹介。

立山は日本を代表する山岳観光地のひとつです。現在、国内外より年間約100万人の観光客や登山者が訪れます。そんな立山の魅力は、雄大な大自然と移り変わる四季にあります。人々の心を惹きつける“立山の自然の魅力”を立山黒部アルペンルート“天空ロード”になぞりながら、ご紹介します。

立山自然保護センターは、立山の豊かな自然を知り、楽しんでいただけるよう、ライチョウや高山植物など、立山の貴重な動植物に関する展示・解説や、室堂平展望のフィールド情報を提供しています。

申込方法 1.往復はがき 2.FAX 3.Eメール の3方法で受付致します。 [受付期日/2014年8月30日まで(必着)]

1. 往復はがき

往復はがきに必要事項と返信用紙を宛先にご記入の上、下記までお申込み下さい。(はがき1枚につき、複数名可)

申込先
〒930-0849 富山県富山市稲野町2-34
富山県「立山の夕べ」実行委員会
富山事務局 宛て

2. FAX

必要事項をご記入の上、下記までお申込み下さい。(FAX1枚につき、複数名可)

申込先FAX番号
076-442-3431
申込先
富山県「立山の夕べ」実行委員会
富山事務局 宛て

3. Eメール

必要事項をご記入の上、下記までお申込み下さい。(Eメールにつき、複数名可)

申込先Eメールアドレス
info@alpen-route.co.jp
申込Eメール件名に「立山賛助申込」とご記入下さい。

記入必要事項

- 参加者全員の氏名、年齢、立山へ行ったことがある回数
- 申込者の住所・電話番号
- 返信先
・FAXで申込の場合→返信FAX番号
・Eメールで申込の場合→返信Eメールアドレス
- イベントを知ったきっかけ

9月上旬に、申込み方法に応じた返書で参加をご連絡します。(抽選の場合は当選を案内)なお、返信物を当日の入場券としますので、必ずお持ち下さい。

※抽選の結果は返信書をもって富山案内所で発表します。 ※ご記入いただいた個人情報は、申込書に関するご案内のために利用致します。

1.往復はがきで応募 返信はがき
2.FAXで応募 返信FAX
3.Eメールで応募 返信Eメール(アドレス)